

議事メモ（概要）

- 性能設計とすることで、設計の自由度が増すが、安全安心が担保されているか行政がきちんと照査する必要がある。
- 航空分野は、国際基準との整合性が必要と考えられるが、定時性、快適性への配慮も検討すべきである。
- 規模が小さな施設も性能設計とするのは合理的ではないが、大きな構造物は性能設計とするのが良い。その場合、みなし規定をどのようにすべきか検討すべきである。
- 飛行場標識の書き換え等は工事中も航空機への安全性が確保されるよう配慮すべきである。
- 性能規定化のイメージが一般に分かり易いようにするべきである。
- 性能設計の導入にあたっては、ライフサイクルコストを考慮できるものとするべきである。
- 地方の空港は、十分な技術者が抱えられないので、分かり易い基準とすべきである。